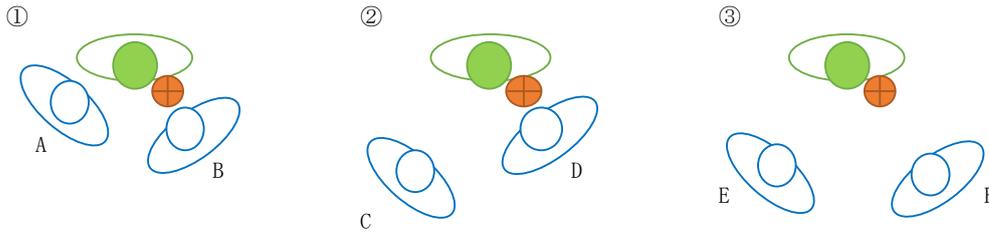


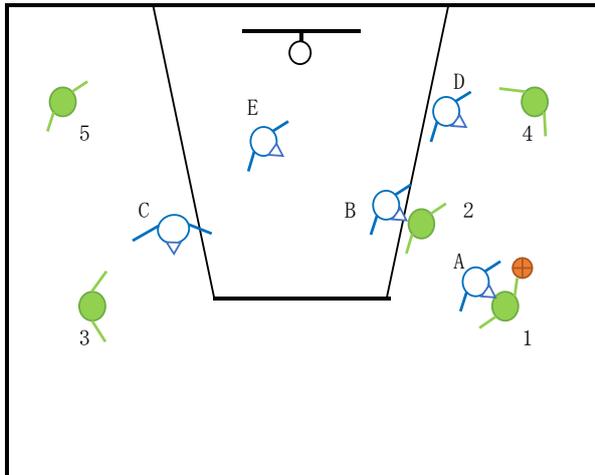
設問1 ①はマンツーマンディフェンスにおける正しいトラップの図です。②③は正しいトラップではないとすると、その理由を教えてください。



設問2 次のマンツーマンディフェンスで基準規則に照らし合わせ正しいものは○を、明らかに誤っているものに×をつけ、その理由を教えてください。

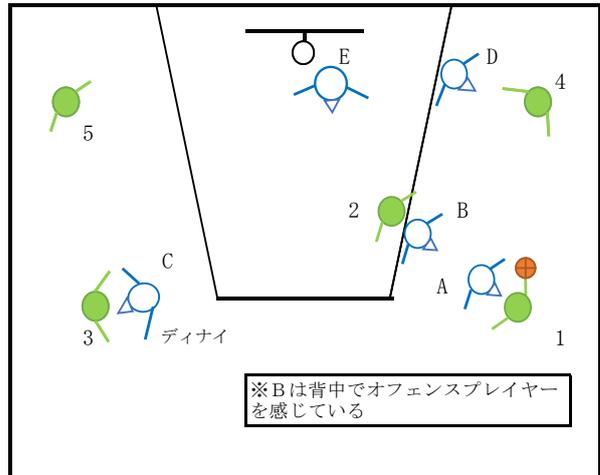
\*基本A→1 B→2 C→3 D→4 E→5 をマークしている時からの状況の変化

ケース1 \*ボールマンはマッチアップエリア内とする



理由

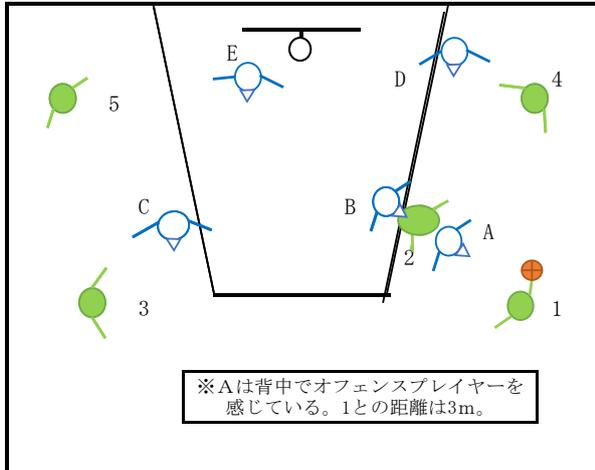
ケース2 \*ボールマンはマッチアップエリア内とする



※Bは背中でオフenseプレイヤーを感じている

理由

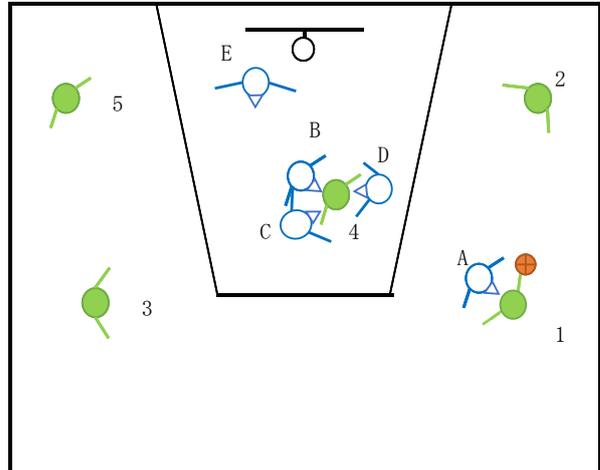
ケース3 \*ボールマンはマッチアップエリア内とする



※Aは背中でオフenseプレイヤーを感じている。1との距離は3m。

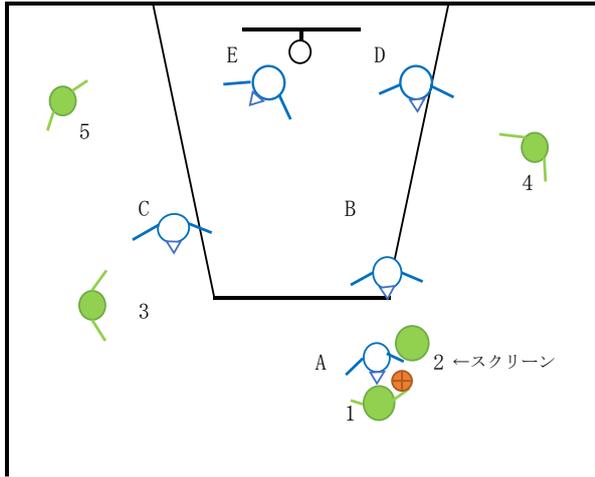
理由

ケース4 \*ボールマンはマッチアップエリア内とする



理由

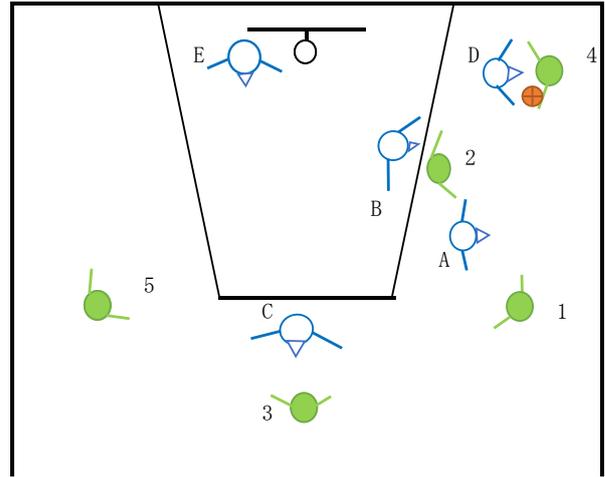
ケース5 \*スクリーン場所はマッチアップエリア内とする



理由



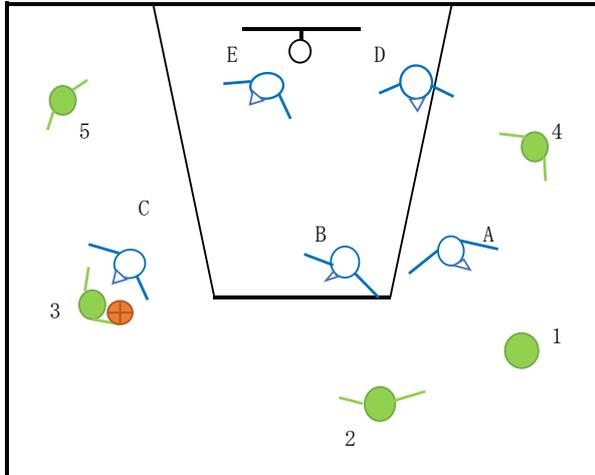
ケース6 \*ボールマンはマッチアップエリア内とする



理由



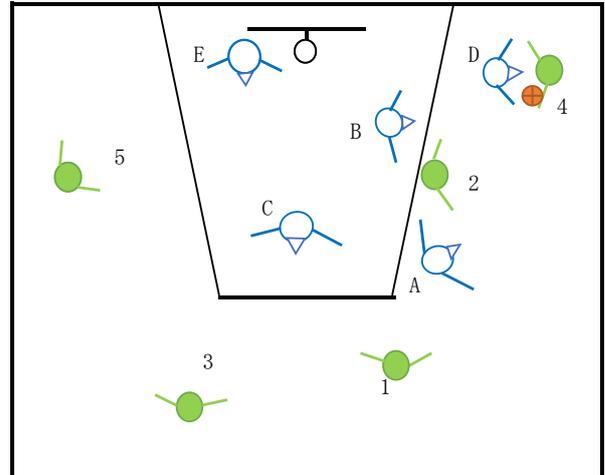
ケース7 \*ボールマンはマッチアップエリア内とする



理由



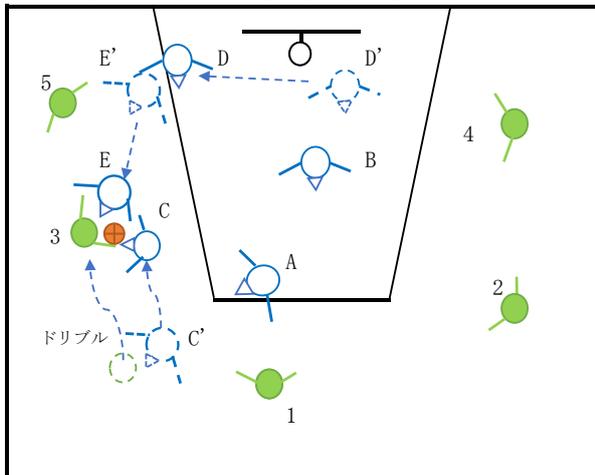
ケース8 \*ボールマンはマッチアップエリア内とする



理由



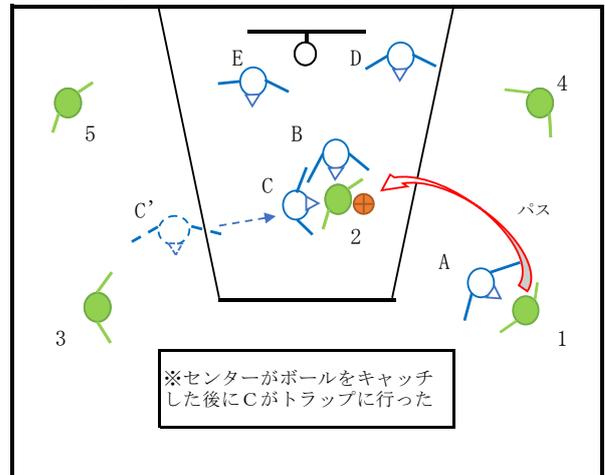
ケース9 \*ドリブルからのトラップとローテーション



理由



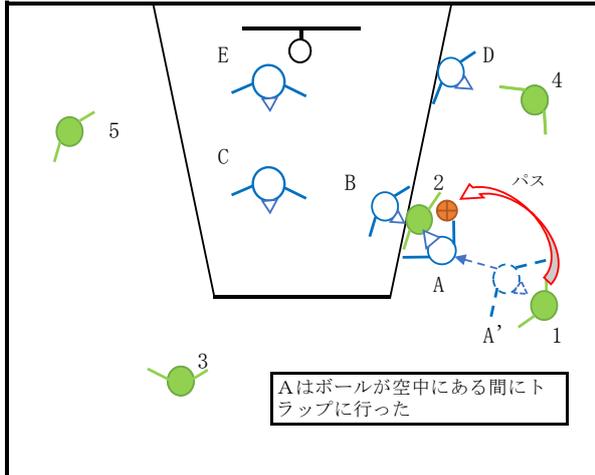
ケース10 \*ドリブルしていないセンターへのトラップ



理由

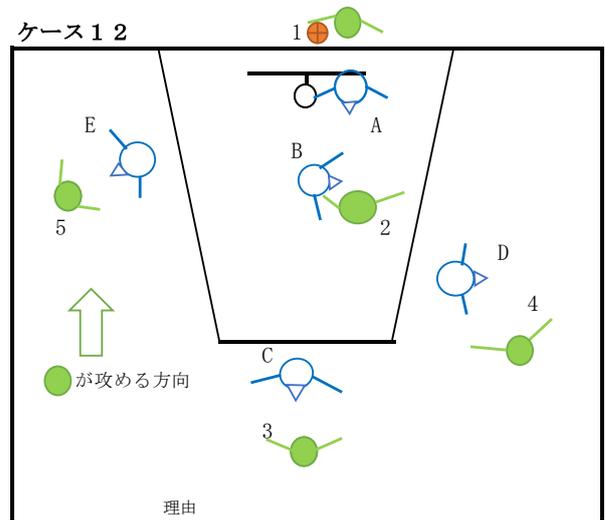


ケース 1 1 \*ボールが空中にある間にトラップ



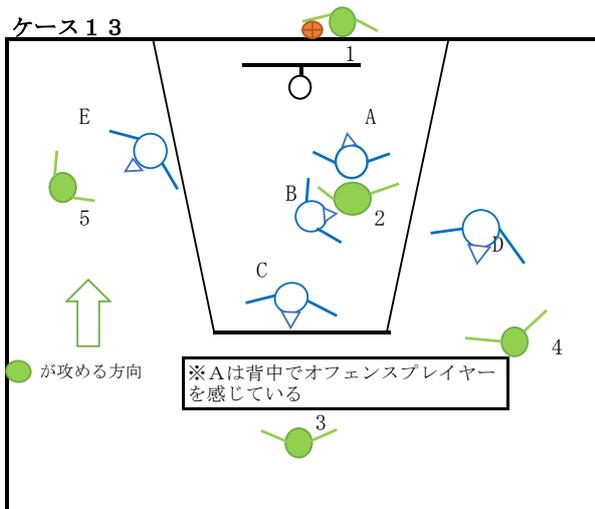
理由

ケース 1 2



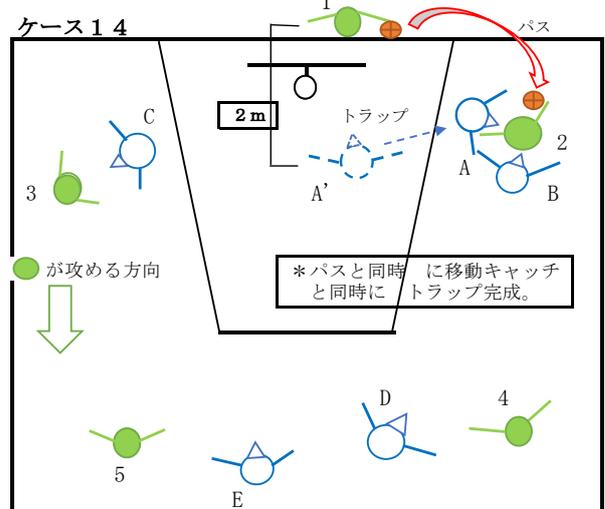
理由

ケース 1 3



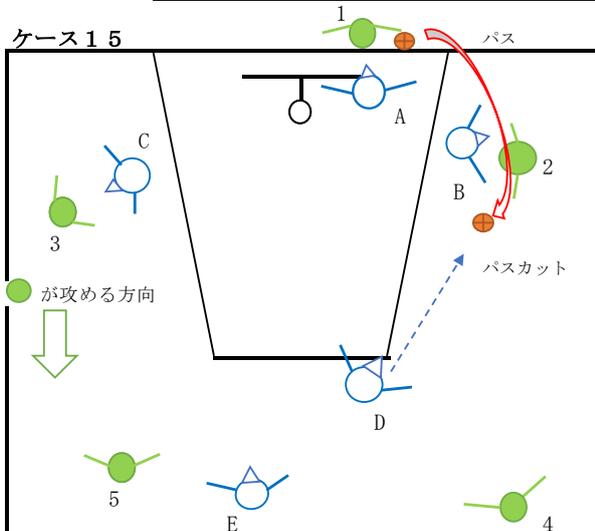
理由

ケース 1 4



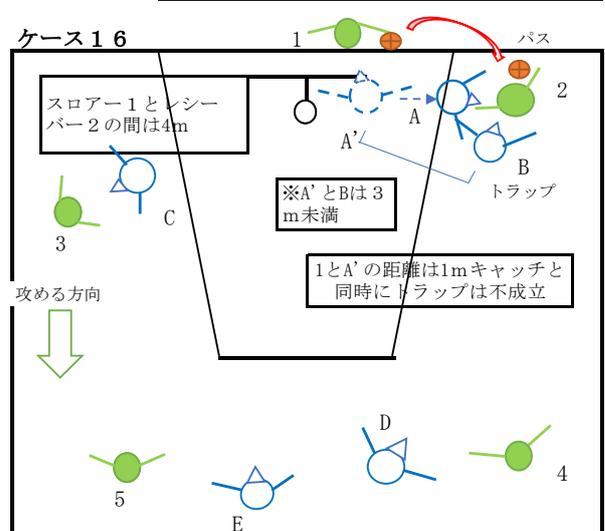
理由

ケース 1 5



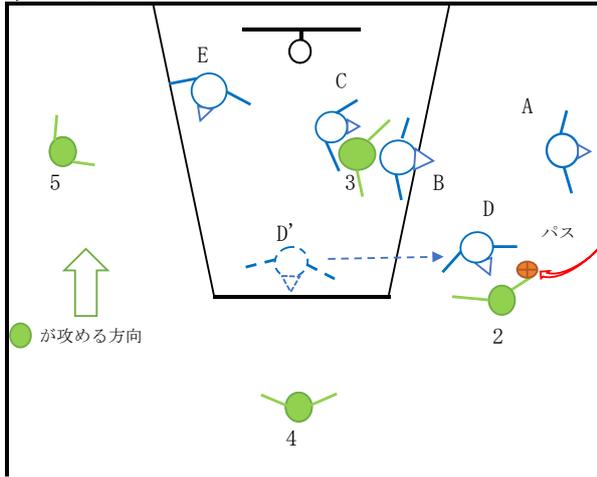
理由

ケース 1 6



理由

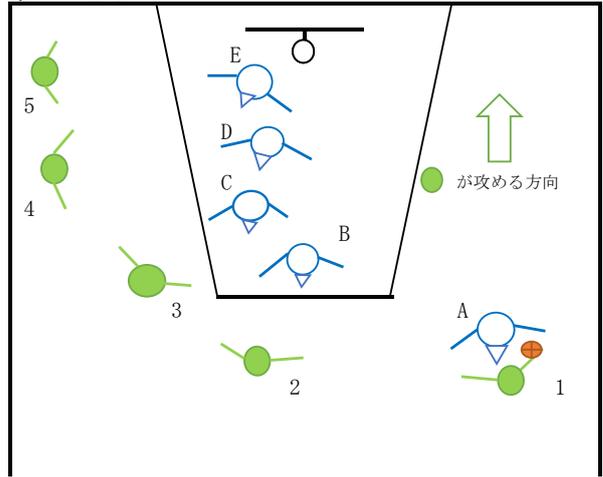
ケース 17



理由

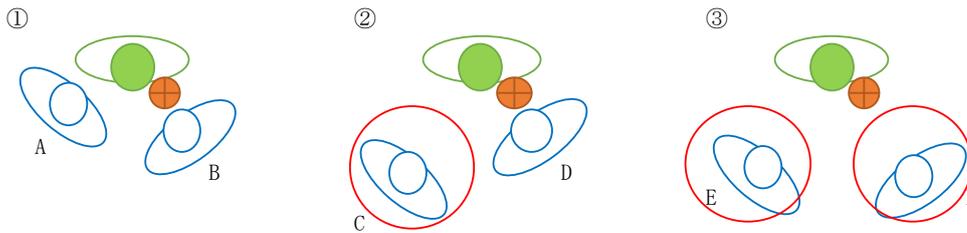
 

ケース 18



理由

設問1 ①はマンツーマンディフェンスにおける正しいトラップの図です。②③は正しいトラップではないとすると、その理由を教えてください。

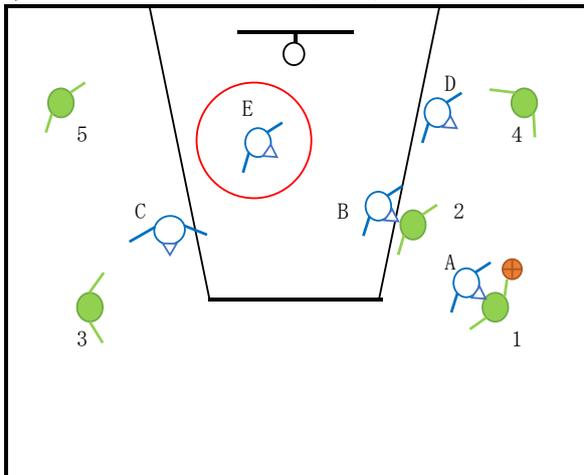


②と③におけるCとEとFが、トラップの定義に当てはまらない位置にあると思われる。

設問2 次のマンツーマンディフェンスで基準規則に照らし合わせ正しいものは○を、明らかに誤っているものに×をつけ、その理由を教えてください。

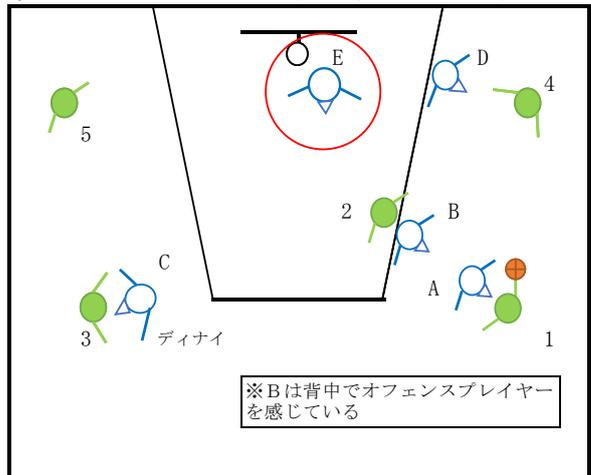
\*基本A→1 B→2 C→3 D→4 E→5 をマークしている時からの状況の変化

ケース1 \*ボールマンはマッチアップエリア内とする



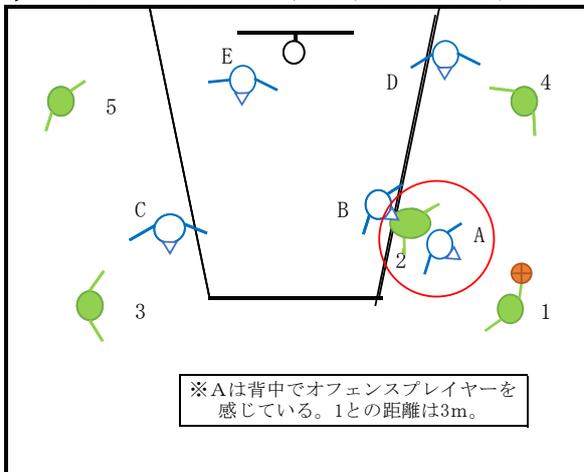
理由  
 ヘルプの状況でないのに、Eが自分のマークマンを把握していないから。

ケース2 \*ボールマンはマッチアップエリア内とする



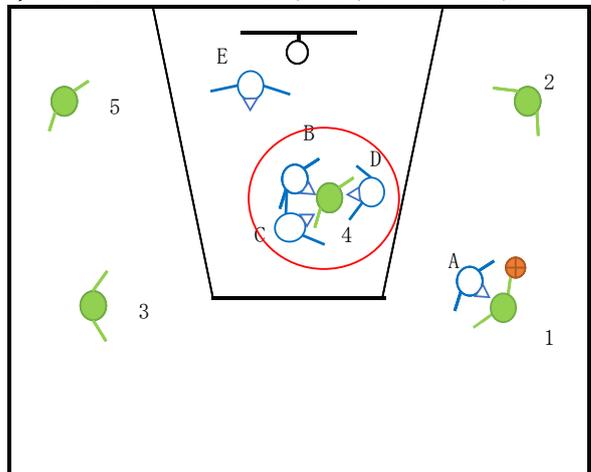
理由  
 ヘルプの状況でないのに、Eがミドルラインを越えているから。

ケース3 \*ボールマンはマッチアップエリア内とする



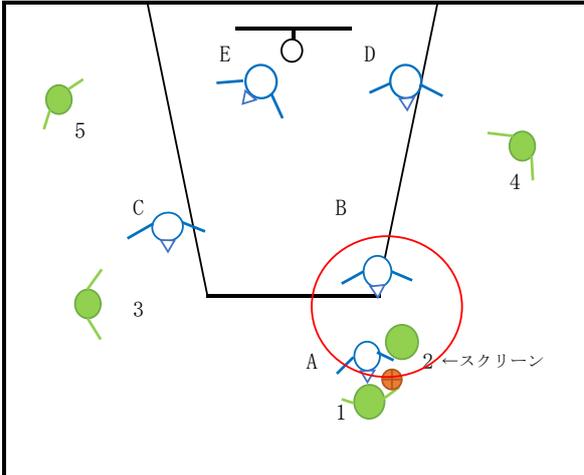
理由  
 マッチアップエリア内におけるボールマンディフェンス (A) の距離が正しくないから。

ケース4 \*ボールマンはマッチアップエリア内とする



理由  
 制限区域内のオフボールのトラップだから。(人数の制限はない。)

ケース5 \*スクリーンの場所はマッチアップエリア内とする

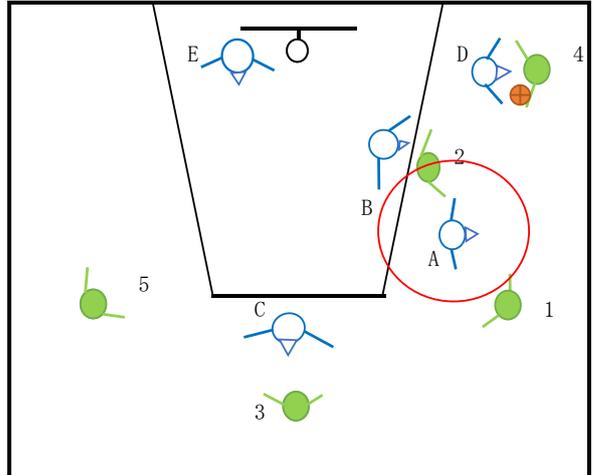


理由



Bは2線（ワンパスアウェイ）で、自分のマークマンを捉えているから。

ケース6 \*ボールマンはマッチアップエリア内とする

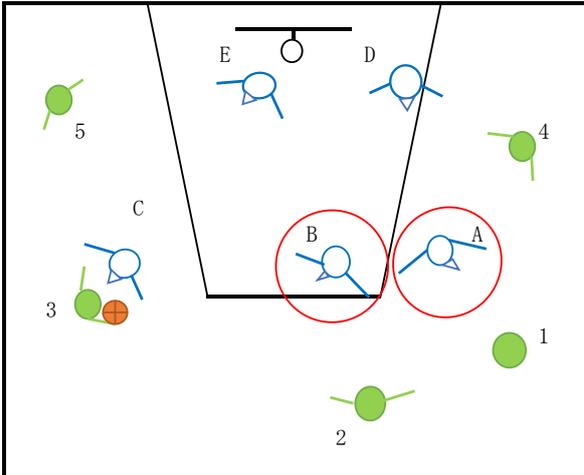


理由



Aは自分のマークマンを捉えている状態で、オフenseプレイヤー2に対してのオフボールのトラップとなっていないから。

ケース7 \*ボールマンはマッチアップエリア内とする

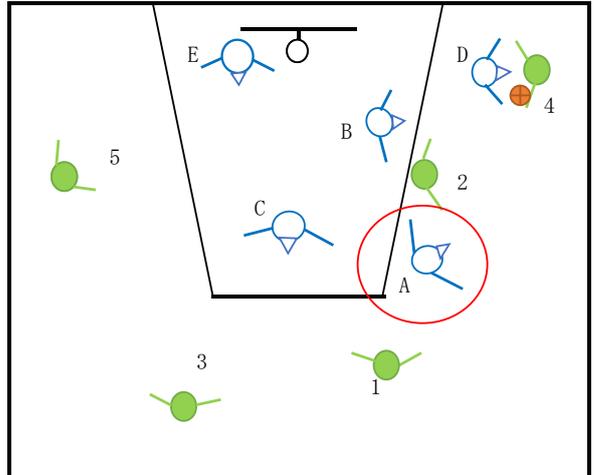


理由



それぞれが自分のマークマンを捉えているから。A・Bは俗に言うボールラインを意識したディフェンスである。

ケース8 \*ボールマンはマッチアップエリア内とする

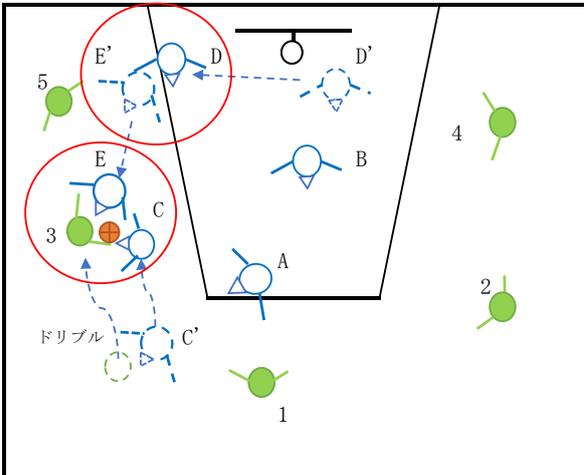


理由



Aは制限区域外でのオフボールのトラップとはなっていないが、自分のマークマン（1）を捉えていないから。

ケース9 \*ドリブルからのトラップとローテーション

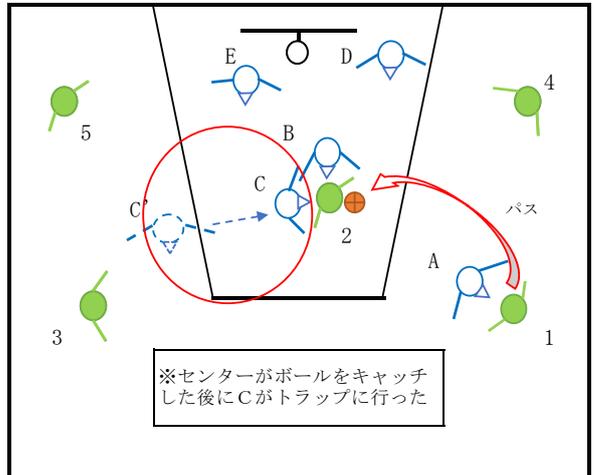


理由



特に問題なし。  
また、U15においては、ドリブルがなくてもトラップに行くことも可能。\*

ケース10 \*ドリブルしていないセンターへのトラップ



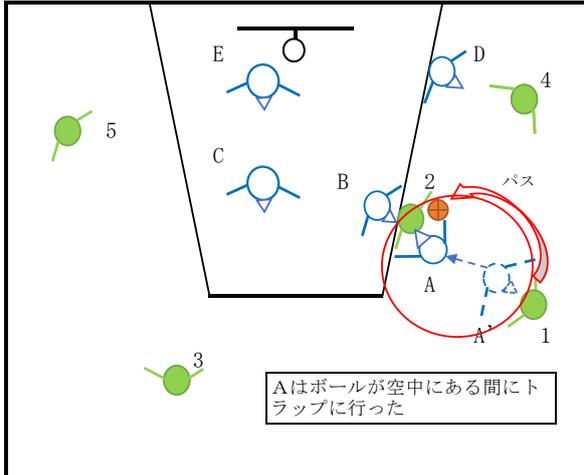
理由



※センターがボールをキャッチした後にCがトラップに行った

オンボールに対するトラップができる3つの要件に当てはまらないから。(U12)

ケース 1 1 \*ボールが空中にある間にトラップ

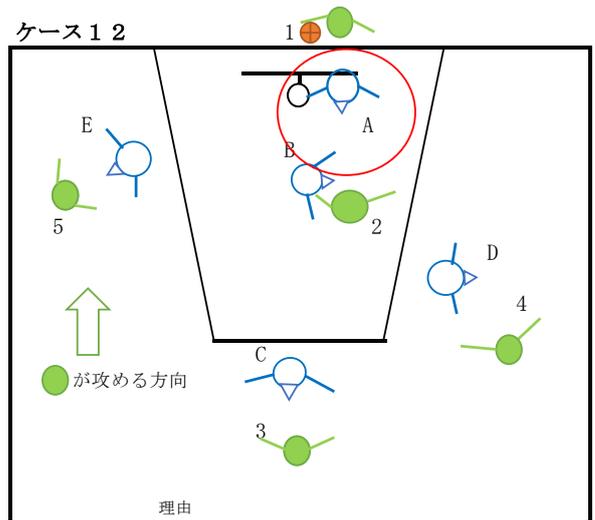


理由



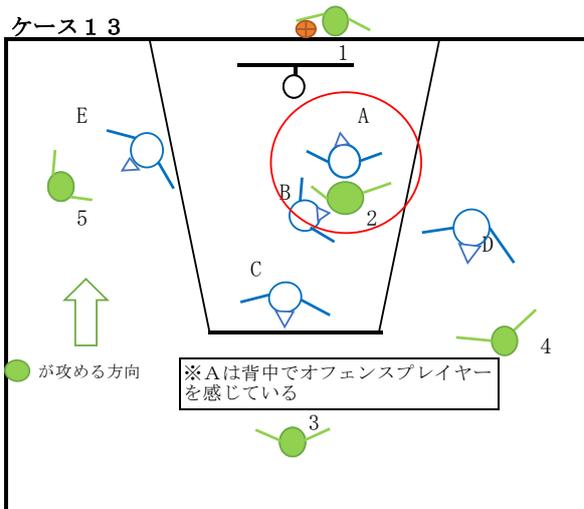
ボールが空中にある段階でボールマンディフェンスでなくなり、かつトラップ可能な3つの条件に適しているから。

ケース 1 2



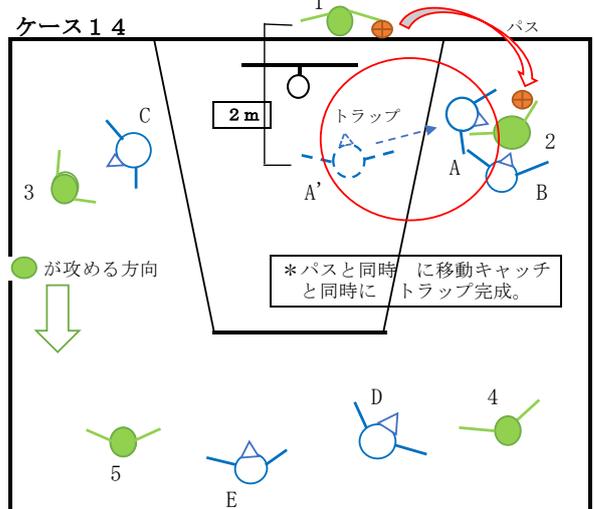
2は制限区域内にいますのでオフボールのトラップは可能であるが、Aがトラップになっていないので。

ケース 1 3



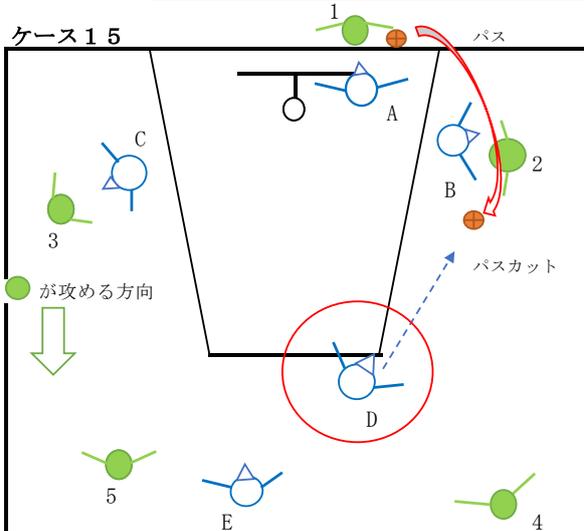
Aはボールマンディフェンスではあるが、スローイン時なのでオフボールプレイヤーにトラップに行くことは可能だから。

ケース 1 4



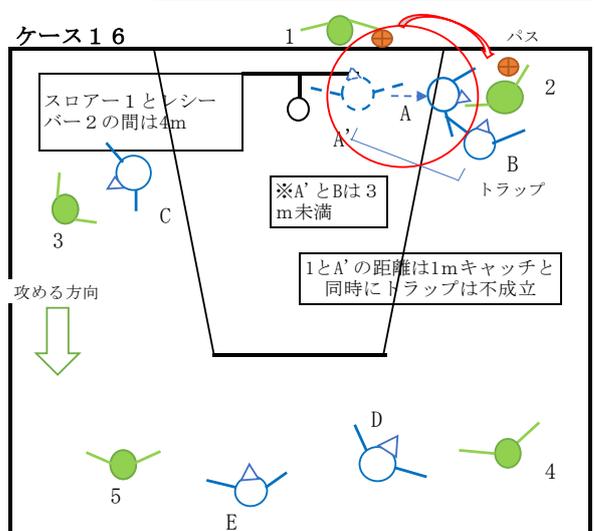
Aがパスと同時に移動、キャッチと同時にトラップが完成したとしても、最初の位置が1.5m以上のため。

ケース 1 5



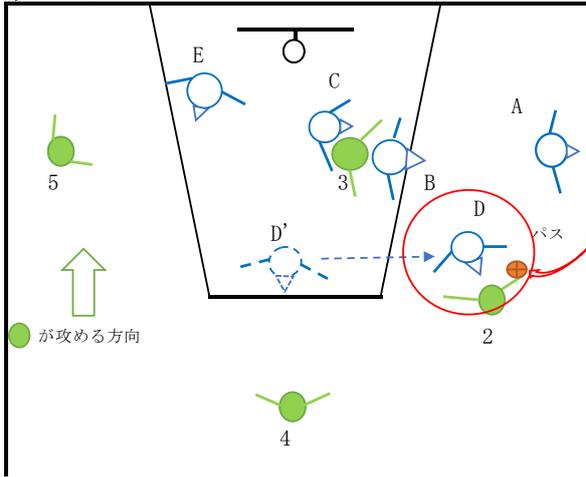
Dが自分のマークマンを捉えていないから。

ケース 1 6



トラップ可能な距離の2~3mは、オフenseのきよりでディフェンスの距離ではないから。(U12)

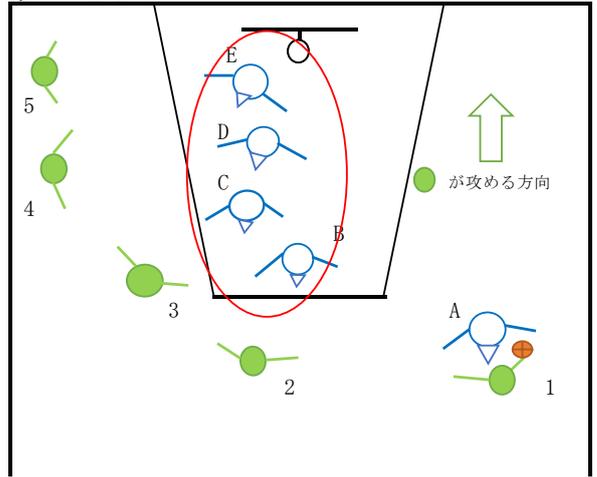
ケース 17



理由

制限区域内におけるオフボールのトラップからのローテーションであるから。

ケース 18



理由

それぞれのディフェンスが自分のマークマンを捉えているから。